

関連学術集会

1. スポーツ栄養学研究会

B会場：中ホール 1/2
5月13日(土) 18:00～20:00

代表者：岡村 浩嗣 (大阪体育大学運動栄養学)

連絡先：TEL：072-453-8839 / E-mail：okamura@ouhs.ac.jp

アスリートの糖質代謝について(1)ピロリ菌検査や肝機能検査で実績のある¹³Cグルコース呼気試験を応用して評価した、鍛錬者(長距離走選手)と非鍛錬者の糖質代謝の特徴とグリコーゲンローディング評価の試み(2)核磁気共鳴分光法(MRS)によるアスリートの筋グリコーゲン濃度に関する知見と今後の展望について、それぞれの分野でご活躍の演者にお話ししていただきます。

(1) ¹³C グルコース安定同位体呼気試験を用いたアスリートの糖質代謝能解析

藤見 峰彦
文教大学

.....

(2) 核磁気共鳴分光法を用いた筋グリコーゲン濃度の測定

元永 恵子
国立スポーツ科学センター

2. 栄養学若手研究者の集い

C会場：中ホール 1/2
5月13日(土) 18:00～19:30

代表者：井上 博文 (東京農業大学)

連絡先：E-mail：h5inoue@nodai.ac.jp

演者：米山 知奈 (北海道文教大学人間科学部)

女子アイスホッケー界を取り巻く食環境

総会30分、講演1時間

アイスホッケーは、『氷上の格闘技』とも呼ばれる激しいスポーツです。今年2月の北京オリンピックで、アイスホッケー女子日本代表は6位に入賞しましたが、選手を取り巻く食環境は、十分なものではありません。そこで今回は自身が競技生活で感じていた、女子アイスホッケー界の食事に関する課題や、管理栄養士が活躍できる場について考えてみたいと思います。

3. コラーゲンペプチド研究会

D会場：104 + 105 会議室
5月13日(土) 18:00～20:00

代表者：佐藤 健司 (京都大学大学院農学研究科)

連絡先：TEL：075-753-6444 / E-mail：sato.kenji.7x@kyoto-u.ac.jp

コラーゲンペプチドの新たな機能、代謝・吸収と作用メカニズムの研究成果を報告する。その後それぞれの話題について、今後の研究の方向性を議論する。

4. 第13回カルノシン・アンセリン研究

E会場：107 + 108 会議室
5月13日(土) 18:00 ~ 20:00

代表者：西村 敏英（女子栄養大学：世話人代表）

江草 愛（日本獣医生命科学大学：事務局）

連絡先：TEL：042-231-4151 / E-mail：a-egusa@nvl.u.ac.jp

本研究会は機能性ペプチド「カルノシン・アンセリン」に関する研究発表および研究講演を行っております。今年度は大学、医薬品原料メーカー、食品企業等で活躍する方々が登壇し、カルノシン・アンセリンの魅力や今後の研究の展開についてご紹介いただく予定になっております。抗酸化や抗疲労、認知機能改善などの作用を有する「カルノシン・アンセリン」について、ご興味のある皆様のご参加をお待ちしております。